

体協キャラクター
たちえもん たちみちゃん

スポーツ たちかわ

(特非)
立川市体育協会

〒190-0015 立川市泉町786-11

泉市民体育館内

TEL・FAX 042-534-1483

発行責任者 河内 勝正

編集責任者 木戸口 辰雄

e-mail bz821830@bz04.plala.or.jp



特定非営利活動法人
立川市体育協会

会長 河内 勝正

年頭にあたって

新年のご挨拶



立川市長
清水 庄平

新年明けましておめでとうござい
ます。

貴会会員の皆様には、日頃か
ら本市の体育行政、スポーツ振
興に深いご理解とご協力を賜り
まして、厚く御礼申し上げます。

昨年は、2020年東京オリ
ンピック・パラリンピックの招
致決定という嬉しいニュースに
日本中が沸きました。そしてそ
の熱狂の余韻のなか、54年ぶり
の首都開催となったスポーツ祭
東京2013・第68回国民体育
大会が開催され、本市の各競技
会場も大変な盛り上がりを見せ
ました。各競技団体役員の方々
をはじめ、数多くの市民ボラン
ティア、そして貴会会員の皆さ
んのご協力の賜物と感謝の思い
は尽きません。この場を借りて、
改めて御礼申し上げます。

新年明けましておめでとうござ
います。輝かしい新春を迎え
謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には、日ごろから当会
諸事業に深いご理解と多大なる
ご支援を賜り厚く御礼申し上げ
ます。

昨年は、皆様のお力添えによ
り東京多摩国体（スポーツ祭東
京2013）が成功裏に終了し
ましたことは、スポーツ振
興・普及の一旦を担ってきまし
た立川市体育協会として心から
感謝申し上げます。

この度の国体事業の推進を通

私も表彰式等で各会場に連日
顔を出しましたが、競技する選
手達はもちろん、選手をサポート
するチームスタッフ、応援す
る観客の皆さん、そして大会の
運営に携わった関係者の方々、
その全てがいきいきと力強いエ
ネルギを発しているように感
じられ、清々しい気分を味わう
とともに、改めてスポーツの持
つ力を感じた次第です。

今回の国体では、市内全ての
小中学生に直接観戦できる機会
をつくりました。トップアス
リートの活躍を間近で観た彼ら
の中から、未来の国体選手、オ
リンピック選手が生まれてくる
ことを期待しています。

一方、スポーツはトップアス
リートを目指す選手・関係者だ
けのものではなく、誰もが自ら

じ、スポーツ振興・普及並びに
スポーツ環境や指導の重要性を
再認識することができました。
今後、当会事業の重点課題とし
て取り組んでいく所存です。

本年度の市民体育大会等当会
事業についても、ほぼ予定どお
り進捗し、残す所、バスケット
ボール（中学生）、駅伝競走&
小学生ロードレース、立川シ
ティハーフマラソンとなりました。

また、念願であった体育施設
（泉市民体育館）の指定管理業
務の指定を受けましたことは、

身体を動かし、楽しむことで、
体力の増進や仲間との交流を生
み、心も体も健康でいきいきと
した生活を送ることにつながる
ものです。市といたしまして、
市民の皆様が生涯にわたってス
ポーツに親しみ、楽しみながら
健康づくりに励み、一人ひとり
が生きがいを持って充実した人
生を送れるよう支援していきた
いと考えております。

そのためには、日頃より市内
の各地域でスポーツ振興にご尽
力いただいている、貴会のご協
力は欠かせないものであり、今
後も皆様の一層のご支援を
切にお願いいたします。

結びに本年も貴会の皆様のご
健勝とご活躍を祈念いたしまし
て、私の新年の挨拶といたしま
す。

当会の将来に向け、大きな前進
であり、ここにご報告できま
すことを心より喜んでおります。

来年度より運営管理に携わる
こととなりましたが、これを新
たな起点として、これからも中
高年はもとより若者たちが最も
果敢な年代にスポーツに親しめ
るよう加盟団体、行政、関係各
位のご指導、ご支援を基に、地
域親睦、活性化に努力してい
く所存でございますので、今後と
も皆様方より一層のご支援を
お願い申し上げます。年頭の
挨拶といたします。

第68回国民体育大会 スポーツ祭東京2013

東日本大震災復興支援

スポーツ祭東京2013立川市開催競技無事終了！



ゆりーと

9月28日(土)、味の素スタジアムで行われた総合開会式で幕を開けた「スポーツ祭東京2013」。立川市では、実質的に翌29日(日)から10月7日(月)までの期間で競技が行われました。

この54年ぶりの大会が、盛大にしかも事故なく無事終了できましたのは、ひとえに貴会をはじめボランティアや関係機関のみなさんのお力添えの賜物と実感しております。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

立川市総合政策部国体推進室 室長 井上 隆一

軟式野球

軟式野球競技は多摩地区の6野球場において、4日に一斉に開幕し立川公園野球場においては、午前8時に開会式が行われました。競技役員奥山英明氏、立川市長清水庄平氏、市議会議長守重夏樹氏、実行委員会より佐橋恭子事務局長・競技役員・審判員が見守る中、初戦の京都府と静岡県代表の入場行進。立川市長が歓迎のあいさつ、引き続きゆりーとダンスが披露された。試合開始の始球式には清水立川市長が見事な投球を行い、スタンドを埋める大観衆の喝采を受けた。

あいにく5日は前夜からの雨が続きグラウンド不良の間において、駒場東邦高等学校、競技補助員の手を借り全員でグラウンドを整え何とか消化しなくてはと小雨降る中、試合を強行、12時半開始から又7回からはナイター点灯と4時間に及ぶ試合と成った。

6日(日)急遽5日の悪天候の為、立川市において、八王子と府中において出来なかった試合・2試合を各チームに移動していただき行った。

軟式野球連盟 木戸口 辰雄

バレーボール

熱い4日間

成年男子の部が開催され、4日間で11試合が行われました。

全国トップレベルの選手がこの立川市に集い、競い、そして交流した素晴らしい大会となりました。

最後までベストを尽くし戦い抜かれた選手達に観戦をいただいた皆様より心温まる声援があり盛り上がりしました。

バレーボール連盟 五十嵐 治

少年男子バスケットボール競技会

大観衆・大声援の中、閉幕！

「少年男子、絶対に泉体育館でやるよ。すごい観衆になるよ。」

3年前の千葉国体バスケットボール競技会場視察の際、故鈴木叔巨会長の残した言葉を噛みしめています。その鈴木会長は、「少年男子」の誘致に東奔西走され、実現に漕ぎ着けられた最中、本大会をご自身の眼で観ることなく世を去られました。

それから3年後の10月6日、泉体育館での少年男子準決勝は、悪天候にも関わらず、試合を観たいファンの行列が延々と続き、やむなく入場制限をしたほど、かつてない大観衆で膨れあがりました。

最終日の決勝戦も同様の大観衆の中、大声援を受けた東京都の優勝で閉幕しました。東京都の優勝を祝するとともに、厚いご声援をおくってくださいましたバスケットボールファンの皆様、小中学校の先生方の引率の下、観戦し応援してくれた児童・生徒の皆さんに感謝いたします。

まさしく、鈴木会長の予言通りの結果でした。

本大会を誘致し、適正で詳細な企画の下、安全で円滑な運営にご協力をいただきました立川市及び国体推進室に敬意を表し御礼を申し上げます。

また、立川市実行委員会の皆様、ボランティアとして事前の準備から当日の片付けに至るまで、並々ならぬご尽力をいただきました市民の皆様、有り難うございました。

さらに、各自治会の皆さんはじめ各小学校の児童の皆さんには、計画に沿ったプラントづくりや応援のぼり旗の作成にご協力をいただきました。

皆さんが愛情込めて育てた花々は、会場周辺を彩り、選手の皆さんや応援の方々の方々の心を和ませ、各都道府県

の応援のぼり旗は、それぞれの故郷を想い起こさせ、勇気を奮い立たせたことでしょう。

東京に、多摩に、島々に、そして、私たちの「立川」に羽ばたいたスポーツ祭東京2013は、立川市民の温かい「おもてなしの心」が際立ち、立川のよさを全国に発信できた感動のある大会でした。

ありがとう「立川市」、ありがとう「市民のみなさん」、「ナイスシュート!」

感謝の念で一杯です。

立川市バスケットボール協会 会長 福田 一平

自転車

自転車競技のロード・レースが八王子―あきる野・奥多摩へと特設コースにて行われた。第2位に立川の選手が健闘した。

30日から立川競輪場において4日間にわたり競技が開始された、東京都代表に立川市から昭和第一学園高等学校のOBと生徒が出場して好成績をあげました。

自転車競技連盟 理事 伊藤栄一郎

ダンススポーツ

「とどげようスポーツの力を東北へ」このサブタイトルのもと、10月6日(日) 柴崎市民体育館で開催されました。正式競技は日本全国からの参加ですが、デモスポーツ競技は都内を中心に競技参加を呼びかけてほしいとのことで、各区市の皆さんに参加を願う団体44チーム個人戦250組の大会となりました。開会宣言、国歌斉唱、大会会長、来賓の清水市長、守重市議会議長、体育協会河内会長等のご挨拶。国体歌「若い力」の大会合唱、ラジオ体操を行い競技開始です。

午前のラテン種目そして44チーム参加の団体戦、最後にスタンダード戦と午後7時過ぎまでの大熱戦でし

た。今国体は東京都の男女総合優勝で終わりましたが、私共「ダンススポーツ」の大会も行政市民の皆様の大きなご支援を頂きました、ありがとうございました。

尚、立川市は団体第5位でした。

ダンススポーツ連盟会長 福田 義四千

第68回国民体育大会・

第13回全国障害者スポーツ大会

デモンストレーション

「ミニテニス大会」無事終了して

この度、国内最大のイベントである標記大会が、9月29日の日曜日 立川市柴崎市民体育館で開催され、小学生3年生以上の親子から70才以上の方まで200名の選手が参加し、熱戦が展開されました。日頃行っている大会は、各協会等派遣選手だけの大会ですが今回は、国体の雰囲気を経験してみたいという方が参加したため運営面では競技内容を説明をして試技したりとする場面もありましたが「ミニテニス」は、誰にも簡単に出来るためそれなりに楽しんでいただけたと思います。

特に親子のコートは、父親と男の子が参加しそれを観覧席からお母さんやお姉さんの「頑張って!」や拍手等の応援があり大変盛り上がりました。

参加された選手が、日頃の協会主催の勝敗にこだわる大会ではなく楽しもうとする雰囲気が伝わる和やかな大会となりました。

東京都ミニテニス協会並びに立川市ミニテニス協会の役員の皆様また関係者の皆様には大変ご協力を頂き大きな事業が無事成功裡にすることが出来ました。

誠に有難うございました。 厚くお礼申し上げます。

東京都・立川市ミニテニス協会

理事長・考案者 天野 孝一

平成三十四年度東京都スポーツ功労受賞

東京都ミニテニス協会理事長(考案者)

天野 孝一 氏

昭和61年4月、立川市教育委員会主催のスポーツの出前で、60才以上の市民を対象にした『ミニテニス教室』で始めました。六日間の教室で市内を巡回し普及に努め、終了後は自主グループが誕生しクラブ化が進みました。普及には、市内各地の体育指導委員皆様の積極的なご協力を頂きました。その後ミニテニス普及五カ年計画を策定、立川市からの援助もあり、大きく広げることが出来ました。この間、指導員の育成や組織づくりも順調に進み、誕生して間もなく三十年を迎えますが、ここで東京都知事より、東京都スポーツ功労賞の受賞の栄誉となりました。

著:天野 孝一



第67回立川市民体育大会

地区対抗が終盤戦を迎え熾烈な首位争いを展開しています。

テニス競技が終わった時点で、現在得点上位の体育会、①幸町122点、②若葉町117点、③砂川108点、④錦町107.5点、⑤富士見町102点、残る競技の駅伝競走において逆転を起こすかも??

総合優勝は、各体育会の作戦と地区の応援にかかっている、果たして??

第67回

立川市民体育大会

地区対抗種目得点表

種目	地区名	富士見町体育会	柴崎町体育会	錦町体育会	曙町体育会	高松町体育会	羽衣町体育会	砂川体育会	栄町体育会	若葉町体育会	西砂川地区体育会	幸町体育会	柏町体育会
軟式野球		10.0	3.0	9.0	5.5	5.5	5.5	3.0	3.0	8.0	5.5	11.0	3.0
ミニテニス		10.0	3.0	9.0	3.0	3.0	7.0	8.0	6.0	11.0	4.0	5.0	3.0
ソフトボール	男子	5.5	5.5	5.5	10.0	5.5	3.0	3.0	9.0	3.0	8.0	11.0	3.0
	女子	-	5.5	3.0	3.0	5.5	11.0	8.0	5.5	9.0	-	10.0	5.0
水泳	男子	8.0	3.0	10.0	3.0	3.0	5.0	11.0	4.0	3.0	6.0	9.0	7.0
	女子	7.0	3.0	10.0	5.0	6.0	3.0	11.0	3.0	4.0	3.0	8.0	9.0
ゲートボール		3.0	4.0	3.0	9.0	3.0	6.0	10.0	3.0	7.0	11.0	8.0	5.0
陸上競技	男子	4.0	3.0	11.0	3.0	7.0	5.0	10.0	3.0	9.0	3.0	6.0	8.0
	女子	9.0	4.0	8.0	-	3.0	7.0	6.0	3.0	11.0	3.0	10.0	5.0
バレーボール	男子	5.5	5.5	10.0	3.0	3.0	8.0	3.0	-	11.0	9.0	5.5	5.5
	女子	9.0	11.0	3.0	3.0	5.5	5.5	8.0	3.0	10.0	3.0	5.5	5.5
テニス		3.0	9.0	6.0	4.0	3.0	8.0	3.0	7.0	10.0	3.0	11.0	5.0
卓球		6.0	7.0	11.0	3.0	8.0	3.0	10.0	5.0	3.0	9.0	3.0	4.0
バドミントン	男子	11.0	3.0	3.0	4.0	6.0	8.0	7.0	5.0	10.0	-	9.0	-
	女子	11.0	4.0	6.0	3.0	3.0	9.0	7.0	3.0	8.0	5.0	10.0	-
駅伝													
合計得点		102.0	73.5	107.5	61.5	70.0	94.0	108.0	62.5	117.0	75.5	122.0	71.0
順位													

3月2日(日)

立川で春、先どり!!

立川シティ
マラソン
2014

併催 第17回日本学生ハーフマラソン選手権大会

ニューカレドニア国際マラソン姉妹提携



谷川 真里

大島めぐみ

弘山 晴美

【ゲストランナー】

- ・谷川 真里 谷川真理ハーフマラソン大会を主宰。平成4年東京都民文化栄誉賞、平成21年外務大臣表彰受賞（地雷廃絶活動に対して）
- ・大島めぐみ トラック競技でシドニー、アテネオリンピック代表選出、マラソンでも2005年ヘルシンキ大会にて銀メダル（団体）を獲得
- ・弘山 晴美 オリンピック3大会連続出場、世界陸上4大会出場マラソン（ベストタイム・2012年別府大分マラソン2時間30分26秒）

【イベントランナー】

- ・M 高 史 ものまね芸人「M高史」がマジ走ります!

【競技時間】

- ・ハーフマラソン スタート=9:30
スタート場所=陸上自衛隊立川駐屯地内
- ・3kmマラソン スタート=11:30~（カテゴリーによりウエイブスタート）
スタート場所=国営昭和記念公園内
- ・親子ペアレース スタート=13:00~（学年ごとスタート）

【イベント】

- ・バンド演奏、和太鼓、チアリーダーなど

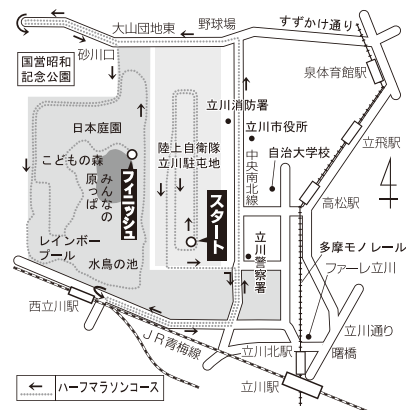
【総司会】

- ・茂山 哲平 トライアスロン、F1、サッカーなど主にスポーツ関連のテレビ・ラジオ番組で活躍中。
- ・野中ともみ 立川楽市などでステージMCに出演。主に子どもイベントの司会を重ねている。



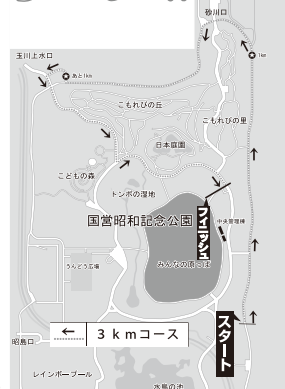
M 高 史

ハーフマラソン



日本陸上競技連盟公認コース（第8423号）
陸上自衛隊立川駐屯地滑走路、国営昭和記念公園及びその外周道路

3kmレース



合気道会は、昭和46年10月に設立その後昭和58年立川市体育協会に加入、現在は(特非)立川市体育協会の一団体として活動しております。全日本合気道連盟に加盟、現在世界95カ国に活動会員が総数26万人にのぼると言われております。国内でも多くの会員が日夜修練に励んでい

ジュニア～シニアまで
幅広い展開を……

合気会

加盟団体紹介

ます。合気道の特徴は、一般的に護身術として世に知られています。護身術には二つに分類できます、一つは安全的護身術、二つは武道的護身術に分ける事が出来るといいます。前者は特に、青少年の事件事故に巻き込まれないよう未然に防止するための危険予知能力を身につけます。後者に於いては直接他人から危害を被った場合、武術によって安全領域に離脱する能力を身につけます。礼儀作法は、小笠原流正座法等の基本的なことを習得又は対人関係の協調性を身につけます。日常の行動で歩行中の転倒・自転車走行中に転倒を合気道の受身技によって

立川市教育委員会表彰者



2012 ITU 世界トライアスロンシリーズ・グランドファイナルラウンド第13位

名雪雅義さん

2012 全日本ジュニア体操競技選手権大会
男子Bクラス跳馬第4位

関根蒼空さん



身体を保護します。
昇級・昇段審査と講習会を年3回実施、合気道本部指導部師範によって公平に審査を行います。演武大会は、毎年恒例の立川市民体育大会を始め全日本(一般の部、少年の部)の演武大会・東京都大会並びに地域団体との交流演武大会を実施しております。
入会年齢は、基本的に6歳以上としておりますが、会則による保護者の同意によっては5歳でも加入出来ます。成人の会員では70歳超の方も稽古に励んでおります。合気道の練習は技の反復動作で試合は行いません。若い人達は不満の存念があるか

トピック

石川ボクシングジム

成田 華も 全国大会 2連勝!!

9月1日、後楽園ホールでU15ボクシング全国大会がありました。去年に引き続き、石川ボクシングジム立川の成田華選手が日本チャンピオンに輝きました。

今年は階級も上がって35kg級にエントリーし、去年の1階級上のチャンピオン小川葵選手とのチャンピオン対決の決勝戦を制しました。

小川葵選手はさすがに強く激戦になりましたが、応援して頂いた皆様やジムの仲間のお陰で、ハナ選手は自分の力を出しきって勝つ事ができました。

ありがとうございましたm(__)m



成田華選手

と思いますが、長年稽古していると、合気道独特の呼吸力とか弛緩力といった腕力を必要としない要素を身につけますが、一朝一夕で達成できるのではなく長年の努力が不可欠です。無料体験が出来ますので、体験を望まれる方は、運動の出来る服装

でお越しいただければ1か月の無料体験ができます。稽古風景は写真を参照してください。詳細については、立川市合気道会のホームページを検索してください。

立川市合気道会

会長 向江 隆次

平成25年度都民参加事業

錦町体育会

「親子グランドゴルフ大会」

平成25年7月6日(土) 立川第七小学校庭において錦町体育会主催の「親子グランドゴルフ大会」が開催され、120名の親子が参加しました。

指導には地域のグランドゴルフ愛好団体の方が担当し、大人や子供にルールの説明、クラブの持ち方などを分かりやすく説明していただきました。

参加者のほとんどの方が初めての体験で、なかなか上手にできなかつたのですが、慣れてくるとホールインワンなども出

て、大人も子供も大喜び、ゲームに熱中していました。

この大会は、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団の都民参加事業の補助金を活用し、グランドゴルフのセット、参加費など必要なものを全て用意することができました。立川市では初めての試みです。

今後は各地域スポーツクラブ(体育会)でも、都民参加事業補助金を活用し、いろいろなスポーツ活動が展開されることでしょう。



「地域スポーツクラブ」とは、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができ、地域の日常的なスポーツ活動の場として、子供から大人まで、高齢の方や障害を持った方を含めすべての人が参加でき、地域住民自らが主体となって運営するスポーツクラブです。

平成25年7月現在、都内47区市町村に116クラブが設立され地域で活動しています。

立川市内の12の体育会は、平成23年度に東京都の「地域スポーツクラブ」に認定されました。



平成25年度
東京都ジュニア育成推進事業

陸上競技教室と記録会

平成25年4月より10月までの7か月間、毎週日曜日の午前中、立川公園陸上競技場で、陸上競技教室を行い、そしてその期間内に3回の記録会を実施しました。

陸上競技教室で学んだことを記録会で如何に発揮できるか、記録会の結果を確認し、教室では反省点の改善に意識を持つて練習することができるようになりました。

記録会でも、回数を重ねる(経験することにより自分たちで、良いコンディションをつくり、走ることができるようになりました。

その結果、毎回自己記録を更新する子供たちが多くでるようになりました。



また、教室では、初心者や低学年の子供たちが走ることに楽しさを体得し、体力の向上もできました。特に「走り方」の基本を重点的に指導しました。リラックスした走りのフォームを身に付けるために、紙のバトンを軽く握って走る練習をしています。これは、力まず、腕の振りに意識をもつて、腕振りがスムーズになれば、結果、脚の運びも良くなります。

そして、ビデオに撮り休憩の時に自分の走りをチェックしています。

最後にクールダウンはワールドの芝生の上で靴を脱ぎ素足で走り、体操をします。

最近では、素足になったり、走り回ることのない生活環境ですので、貴重な体験だと思います。26年度も継続して実施していこうと思います。

立川市陸上競技協会

理事長 飯塚 智子

中学生テニス

中学生テニス(硬式)教室(東京都ジュニア育成地域推進事業)Ⅱ「ほど良い緊張感と競争を植えつける教室」の展開を目指しました。東京都ジュニア育成地域推進事業の支援で、7月20日(土)～8月24日(土)全6回のテニス教室を開催。参加者は35名。参加費は1000円。従来までは、参加する学校は5校程度であったが、今年は8校まで増加した。

特別講師としておなじみの東京都テニス協会ジュニア委員会



副委員長中村吉人氏の指導で、サーブ・ボレー等の基礎技術を学び、生徒のレベルを一挙に上達させた。更に技量に応じたクラス編成と毎回の入替による緊張感Ⅱあの子供には負けたくないという競争心で成果のある教室になった。この結果は、秋の市民体育大会シングルス戦に、中学生クラスと一般部門にエントリーした生徒もここ2年連続して現れている。

今後は、参加生徒のレベルアップを図るため、講師との個人レッスン時間を設けることも検討する。

立川市テニス連盟

会長 橋本 幸雄

立川市空手道連盟
ジュニアスポーツ大会

平成25年7月14日(日曜日)立川市柴崎市民体育館にて、東京都ジュニア育成地域推進事業として立川市空手道連盟主管、第七回ジュニアスポーツ空手道選手権大会を百七十五名、役員、父兄百九十名出席して開催致しました。

会場を以前の柴崎体育館第一体育室に戻し行われました。昨年とは(泉体育館第二体育室)違い会場も広くまた冷房も入っており昨年より楽に運営出来ました。

今回はジュニア育成の観点から、個人戦では得られない協調



性、団結心、責任感の育成を目的に団体戦の大会といたしました。本年は幼児の部でも出場者がありました。高校生も復活し幼児は形・組み手、小学生は型・組み手共、低学年(一、二年生)、中学年(三、四年生)、高学年(五、六年生)とし中学生の組み手は男子のみ、高校生の組み手は男子・女子と分け、三人一組のチームを作り試合を行いました。子供たちは組み手の時仲間の戦いに必死の応援をし、又型では同じ道場の仲間の試合に応援で最高に盛り上がりつつありました。

今回は会場も広く、試合、応援も同フロアで行われたので、選手父兄が一体となって盛り上がり、冷房の効果も無くなるような盛り上がりでした。

大会運営に当たり多くの父兄の皆様にご協力の記録選手のサポート等お手伝い頂き、役員

父兄の相互理解を深めました。

今回もお忙しい中、体協の石川副会長に出席いただき、子供たちへ貴重なお言葉をいただきました。

本大会で、子供達の技術、礼儀、協調性、団結心、責任感の向上と努力の必要性などが得られたと思います、とても有意義な大会になったことと喜んでおります。

今回で7回の開催となり、全国大会等での団体での成果が出て好成績の結果を出しております。昨年は8名今年も4名の東京都強化選手を出すようになりました。

立川市空手道連盟

理事 神場 武勝

集中練習頑張りました！
立川市水泳協会ジュニア育成会

平成25年9月14日(16日)水泳協会ジュニア育成とハンディ育成の合宿が行われました。

2泊3日の間チームメイトやコーチと寝食を共にし、早朝6時から始まる1日3回の練習に初めて参加した子供達は最初驚きの声をあげましたが、慣れるにつれ集中練習の楽しさを感じたのか積極的に練習に取り組み始めました。

早朝練習で普段の数倍の距離を泳ぎ、休憩をはさんで2回目の練習、昼食後に3回目の練習を行いその後は昼寝。食事

習量に比例して普段の数倍の量をお腹に詰め込みました。

宿舎の係員の方々も頑張る子供たちを温かくサポートして下さいました。

合宿に参加する事で、水泳に向き合う心、友達を思いやる心、頑張る心を養えたと思います。

立川市水泳協会

副会長 大河内 一二三



新体操ジュニア実技講習会

平成25年8月18日(日)12月14日(土)泉市民体育館第一体育室において、ジュニア育成地域推進事業として、新体操ジュニア実技講習会を行ないました。2日間、小学生、中学生、高校生合わせて、約140名の

参加がありました。

指導は、シドニー・北京オリンピックで新体操団体ヘッドコーチの五明みさ子さん。スポーツ祭東京2013では、新体操強化ヘッドコーチを担い、チーム東京を優勝に導きました。他にも、2009年第29回世界新体操選手権大会日本代表決定競技会個人総合5位、2010年第27回全日本社会人女子新体操選手権大会個人総合優勝の経歴をもつ立川市在住の浅沼圭さんを始め、世界大会経験者である指導者を講師に、基礎運動・柔軟・バレエ・手具操作・コーディネーション・ステップを行ないました。

競技では柔軟性が求められます。第一線で活躍する選手の動きを見ながら模倣し、直接指導を受けることによって、各選手がそれぞれの目標を具体的に持つことができました。また、作



品の練習・指導では、競技会での自己ベストをめざし、それぞれが競技会で行う演技を点検しました。参加した子どもたちは、高い技術をもつ指導者から、真剣に指導を受け、競技に対する意欲を高めている様子でした。この講習から、2020年東京オリンピック出場選手が生まれることも、夢ではありません。通常の練習では、新体操専用マットは使えませんが、ジュニア育成事業として助成を受けることによって、新体操競技に欠かせない専用のマットをレンタルすることができ、貴重な体験もできました。講習の環境をよりよく整えることができ、怪我もなく終了できましたことに、関係者の皆様に感謝申し上げます。

新体操連盟

副会長 坂下 香澄



バスケットボール

立川市内の中学校は市立中学校9校の他に、都立立川国際中等教育学校と西東京朝鮮第一初中級学校の2校を加えた11校で構成されており、そのすべての学校にバスケットボール部がある。また、今年度、泉市民体育館で行われた「スポーツ祭東京」におけるバスケットボール競技（少年男子）の盛況ぶりからも立川市におけるバスケットボール熱の高まりを感じることができた。

東京都および立川市体育協会のご支援により、本協会では下の目的を達成するために、「バスケットボールクリニック」と「立川市中学生選抜招待バスケットボール大会」を中心に行っている。



元オリンピック選手の矢内さんと市内女子部員達

【目的】

(1) 競技力向上をめざした選手育成とバスケットボールの普及

(2) 本市が平成25年度東京国体バスケットボール（少年男子）競技の主会場となることのPR

(3) 青少年の健全育成
【バスケットボールクリニック】
(1) 全国レベルの高校生とその指導者による講習会
(2) 元オリンピック選手による講習会

【立川市中学生選抜招待バスケットボール大会】…今年度は台風により中止
立川市の男女選抜チームを編成し、近隣五市（国立・国分寺・小平・小金井・昭島）の選抜チームと交流試合を行う。

立川市バスケットボール協会
永井一彦（立川八中）



國學院久我山高校バスケットボール部員・酒井先生と市内男子部員

平成25年度

シニアスポーツ振興事業

ゲートボール大会

昨年より東京都からの支援を受け、シニアスポーツ振興事業として進められております立川市ゲートボール協会実行での春季・秋季ゲートボール大会は、砂川北多目的広場を利用し大勢のご来賓をお迎えして今年もグレードアップしての競技を行うことができました。春は、5月16日に、また秋は10月9日に開催され、いずれも100名ほどの参加者が集り、5名組織のチームが春は21チーム、秋はやや減って16チームで競技が行われました。予選6試合の後、トーナメント戦での決勝大会が夕方まで行われ、終日各地区の腕自



慢のゲートボールが頑張り優勝から第4位までの入賞を目指して熱い戦いが行われました。特に秋の大会では、台風24号の余波突風の中、砂が舞い散るグラウンド上で誰もが風にも負けずの精神でボールに食いついていました。入賞したチームには、前回より用意された大型のメダル等が授与され、大会の華やかさを飾りました。シニアスポーツ振興事業での支援を受けられ今後もますます大きな大会に発展して行くことが期待されます。

立川市ゲートボール協会

理事長 坂本 吉道

暫くぶりのテニス 初めてのテニス

シニア(60才以上)の講習会・試合実施。

東京都シニアスポーツ振興事業の一環で、テニス教室及び試合を開催。

※参加費 500円。

※クラスは、

① 初めの方クラス

② 暫くぶりの方クラス

③ 試合ができるクラス。

指導は、テニス連盟指導部。

※対象者 立川市在住者60才以上

上

※実施日 平成25年11月3日

(日)

※時間…午前9時～午前12時。

会場…錦町テニスコート。

当初の予定日が雨天で順延したため、教室とシニアダブルス戦も順延して実行した。

教室の参加者は、19名であった。その原因としては、当初の予定日が雨天で順延したこと及び会場がモノレール利用、車利用しかないためである。シニアダブルス戦の参加者も14名に留まり、次回以降の会場等の選定に貴重な材料を得た。参加者の意見では、継続を希望する方が多いことが収穫であった。

立川市テニス連盟

会長 橋本 幸雄



発足し20年を迎えることができました。

現在は、古希チーム、還暦3チームを含めて15チーム350名余りの会員にて、会員自身の健康の為、又地域においては活発なボランティア活動に参加し、地域にも貢献しております。本年度の活動は、例年通り40歳以上のチームは、リーグ戦を行い200試合以上、還暦チームは、東京都還暦野球連盟に所属し80試合近く又古希のチーム



は年間近郊のチームと15試合以上親善試合を行っています。

5月には、立川市スポレクフェスタ2013年に参加し2日間6試合行いました。

9月には、姉妹都市大町野球チームとの交流野球試合を行い、回を重ね17回目を迎える事が出来ました。今年も立川市少年野球チーム12名、青年野球チーム12名、シニア野球チーム12名の3チームが交流試合を楽しみに、遠征致しましたが、少年野球チーム試合が終わった時点で雨が降り出し、青年野球の試合の途中で中止となり大変残念でした。今後両市の交流の一環として続ける為皆様の協力のもと頑張りたいと思います。

10月31日には、高齢者のスポーツの向上、健康の維持増進振興事業として、還暦3チームを中心に交流試合を無事に皆様に楽しむことが出来ました。

今年も、会員の方全員が大きな事故も無く、怪我も無く、健康増進、仲間同士の友好を図り無事終了する事が出来ました。

立川市シニア野球連盟

理事長 金井 和夫

第2回シニアダンス大会

9月22日残暑も、まだまだと感じる一日でした。柴崎市民体育館第一体育室を使用しての大会で、昨年に続く催し、各サー



クル代表の技術発表、希望者を募つてのミニコンペ。今回もワルツ・タンゴ・ルンバ・チャチャの4種目で1番から14番までの14組、女性の参加者が多いので1チーム女性が5名、チームリーダーが2人の女性をお相手に競技を行いました。

予選・決勝と勝ち残ったチームは2回踊る事が出来るのですが、予選敗退となると皆さん大変残念がります。ダンスが好きで参加される皆さんですが、お年を感じさせない一面です。何歳になっても元気でいたい、私共役員もこの時は張り合いを感じる時です。参加賞と勝ち残った皆さんはもう一つのお花の賞を受け取られ、「又来年もね」と声を掛け合い終会となりました。

ダンススポーツ連盟

会長 稲田 義四千

加盟団体

地区体育会会長

富士見町	柴崎町	錦町	曙町	高松町	羽衣町	砂川	栄町	若葉町	西砂川地区	幸町	柏町
石田守	中村清	松村岳四郎	加藤哲	森島保	市川恒由	關貞二	佐藤吉栄	尾崎精一	加治成訓	山崎美弘	岩渕定明

〈競技団体会長〉

陸上競技協会	井上	克己
野球協会	清水	孝治
バレーボール連盟	武石	成文
卓球連盟	經廣	敬止
ソフトテニス連盟	林	聖二
弓道会	岡寄	幸平
柔道連盟	伊藤	満雄
剣道連盟	平山	一二
相撲連盟	浜田	和郎
バドミントン協会	馬場	克久
山岳連盟	澤部	範儀
ソフトボール連盟	戸所	辰雄
水泳協会	森田	孝二
クレール射撃協会	伊藤	潔
空手道連盟	須崎	八朗
バスケットボール協会	福田	一平
健康体操連盟	横井	有江

編集後記

広く市民に期待される紙面を目指して体育協会が掲げる重点・推進事業をお知らせしていく予定です。立川を代表して海外・日本において活躍する人、各地域・団体からの情報も寄せてください。期待をしております。

広報部 木戸口・神場・原・輿石

サッカー協会
テニス連盟
合気道会
ゲートボール協会
武術太極拳連盟
ダンス連盟
ミニテニス協会
ゴルフ協会
トライアスロン協会
新体操連盟
吹矢レクリエーション協会
自転車競技連盟

岡部	橋本	向江	吉井	菊田	稲田	小川	豊泉	浅見	五明	河西	関根
直士	幸雄	隆次	保子	直治	義四	友一	幸夫	義明	みさ子	信祐	吉雄

平成 25 年度
賛助会員募集中
たちかわのスポーツ
振興にご協力を

皆様からの協賛金は、立川市の「明日のスポーツ界を担う青少年の健全育成と中高年齢者の健康増進・コミュニティ」に役立てます。

(特非) 立川市体育協会

個人会員	一口 一、〇〇〇円	何口でも可
団体会員	一口 五、〇〇〇円	〃
振込口座	多摩信用金庫幸町支店／普通預金	0131672
特定非営利活動法人立川市体育協会（トクヒ）	タチカワシタイイクキョウカイ	

記



スポーツ安全保険

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保 険 期 間 平成26年4月1日午前0時より平成27年3月31日午後12時まで(申込受付は平成26年3月から)

加入区分・掛金・補償金額（団体活動を行う5名以上の方で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。）

5名以上の団体で
ご加入ください

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (一人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (各事故別)	突然死葬祭費 支払限度額
				死 亡	後遺障害 (通院)	入 院	通 院		
子ども	スポーツ・文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 各算 1事数 5万円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 （急性心不全など） 葬費用 前内国庫など
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中及びその往復中の補償 下段：上記以外（個人活動中）の補償	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 各算 1事数 5万500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	葬祭費用 180万円
				熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金はA1区分と同等	100万円	150万円	1,000円	500円	対象と なりません
				熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません	熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません	熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません	熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません	熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません	熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません
大人	文化・ボランティア・地域活動 団員会の選出、応援、寄付 ※スポーツ活動中の事故は対象となりません	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 各算 1事数 5万円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 （急性心不全など） 葬費用 前内国庫など
	スポーツ活動 子どものスポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 各算 1事数 5万円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 （急性心不全など） 葬費用 前内国庫など
	子ども会・スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動しない方はA2区分	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体・財物賠償 各算 1事数 5万円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 （急性心不全など） 葬費用 前内国庫など
	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動しない方はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 各算 1事数 5万円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 （急性心不全など） 葬費用 前内国庫など
全年齢	危険度の高いスポーツ活動 （アスリート・ボクサー、山岳登山など）	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 各算 1事数 5万円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 （急性心不全など） 葬費用 前内国庫など

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

財団法人 スポーツ安全協会 東京都支部
(東京都体育協会内)

〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内 TEL 03-3481-2423

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受け付けております。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00~17:00)
【共同引受保険会社(平成23年4月予定)】予て争奪なく変更となる場合があります。
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大日本火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災
三井住友海上
昭和23年1月作成 10-T-083

平成23年1月作成 10-T-0837